

第1回西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会ワーキング 議事録

■日 時：平成26年9月5日（金）14:00～16:00

■場 所：たつの市青少年館 ホール

■出席者：別紙

■議 題：

(1) 協議会の設置について

(2) 総合治水条例について

(3) 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画素案について

■今後の予定について

■配付資料：

資料 1-1 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会設置要綱

資料 1-2 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進協議会公開要領

資料 2 総合治水条例について（PP 資料）

資料 3 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画素案

資料 4 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画素案について（PP 資料）

資料 5 推進計画の要点について

資料 6 今後の予定について

【参考資料】

- ・ 総合治水条例の概要（兵庫県）
- ・ みんなでとりくもう！「総合治水」（兵庫県）
- ・ 揖保川水系河川整備計画（国管理区間）（姫路河川国道事務所）
- ・ マイ防災マップづくり（姫路河川国道事務所）

●開会

●あいさつ（光都土木事務所 企画調整担当 所長補佐）

●構成員及び出席者紹介（事務局）

●議事（進行は座長）：

(1) 協議会の設置について

（資料 1-1、資料 1-2 を用いて事務局が説明）

(2) 総合治水条例について

（資料 2 を用いて事務局が説明）

(3) 西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画素案について

（資料 3、資料 4、資料 5 を用いて事務局が説明）

座長

県民構成員さんのほうから一言ずつお願いしたいと思います。なければいい結構ですので、ここにあげている課題について、特に最近よく思われているようなことがありましたら、順番にお聞きしたいと思います。

県民構成員

総合治水とは少し趣旨が違うところがあるのかもしれませんが、去年は揖保川の一番下流の浜田井堰が干し上がりました。一番下流まで水が来ないということが、今までで何回もありました。去年は非常に雨が少なくて、川の水が干し上がったわけですが、浜田地域は揖保川から水を取り入れて田んぼの中に入れております。それが田植えがすんだ後、1週間ほど雨が降らなくて干し上がりました。村の中に地下水をくみ上げるポンプがあります。瀬戸内海の海の水、川の水が井堰まで上がってきますので、村は揖保川の一番下流の中川にはさまれたところではポンプで水を上げたのですが、塩分を含んでいますので、田んぼが枯れてしまいました。そういう事例を皆さんにも知っていただきたいと思います。一番下流では揖保川の恩恵にあずかれない年もあります。今年度も非常に危なくて、1週間ほど遅らせて田植えを行いました。そして、やはり干し上がって地下水に塩分が入っていくので大変だということで、企業の水利のほうに申し入れをしたところです。

ところが、今年度は非常に洪水が多くなりまして、この村は堤防で囲まれているところですし、反対に高潮により水門を閉めると村の水が引いていかないということになりました。宅地化されて田んぼがどんどん減っていますので、雨水がしみ込まないでどんどんふえていくということで、この8月10日の11号台風のときには、土のうを持って走り回りました。

このように、雨が降らなかつたら田んぼが枯れて、雨が降れば村の中に溜まった水がはけないので道路や家が浸水するという事例もあることを知っていただけたらありがたいと思います。

座長

どうもありがとうございます。

県民構成員

いつも揖保川の下のほうに行ったら中州というか、土砂が盛り上がってきて、下手をしたら土手よりも高いのではないかと思うところがたくさんあります。林田川にしてもそうです。そして中に木がたくさん生えています。「それが自然のままでいい」と言う人もおられますが、洪水の時に木がじゃまになったり、木のせいで洪水になると思います。今年は雨が降った割には揖保川の水位が上がらなかったのですが、何年か前に、揖保川、林田川で、後50cmか30cm、もう少しで堤防を超えて水が来そうなところがありました。その原因の一つに川の中の土砂、あるいは木が、非常にじゃまをしているということがあると思います。

昔は、川の砂利とか土砂をとって川底を深くしていたように思うのですが、最近はそのことは経費がかかるからやらない。土砂をとるより山を削ったほうが安いということで、あまりとらないように思うのですが、どうですか。下のほうに行ったら川にたまっている砂利で中の方が高くなっています。あれでは水が来たらあふれてくるのは目に見えています。

国構成員

林田川の樹林化、土砂の堆積についてご意見をいただいたと思っているのですが、先ほど県からのご紹介にもありましたとおり、昨年度、当事務所において「揖保川水系河川整備計画」を策定しています。その中でも、林田川については一部を掘削するということになっています。その掘削の範囲ですが、河川整備計画において洪水の目標流量がございまして、それを安全に流すような河道をつくるために掘削を行うという計画になっています。

県民構成員

掘削というのはどういうことですか。

国構成員

河床を掘るということです。

県民構成員

あれだけになるまで、どうして放っているのですか。

国構成員

河床については随時、モニタリングは行っています。

県民構成員

あれが原因で洪水になったら、責任があるのではないですか。

国構成員

目標流量を安全に流下出来るよう河道を整備していく予定です。

県民構成員

早急にやってもらいたいのです。たしか2、3年前、雨が降って、あと30cmというところまで水位が上がってきました。林田川のたつの市の一番狭い橋のところは、砂も土も木も盛り上がっています。それと、一級河川は国の責任ですか。

国構成員

一級河川の中でも大臣指定区間というところがございまして、そこは県の管理となります。

県民構成員

一級河川では、国の管理区間と県の管理区間が分かれているということなので、それぞれの管理区間において、責任を持ってやってもらいたいと思います。早急にしないと、異常気象で多量の雨が降ってきて、「計画していたのですが、それから漏れました」ということは絶対にないようにしてもらいたいのです。自治会として責任を感じるのです。

国構成員

もちろん、河川管理者として適宜、モニタリングをしています。

県民構成員

現地をよく見て早くやってほしいと思います。いつやるかということが一番大事です。地元としては早急にやっていただきたいです。

たつの市の中の林田川と揖保川でオーバーフローする場所は決まっています。

大雨が降ったときなどには、巡視などはされているのでしょうか。

国構成員

現地の状況というのは逐次、出張所でモニタリングをしていますので、そういうところで危険と判断するようであれば、実施します。また、洪水時は逐次、巡視しております。

座長

ご意見、ありがとうございました。

県民構成員

河川改修をされる場合、基本的に下流からですので、どうしても上流は置き去りになるという傾向が大いにあります。上流部でも工事をしてもらっているが、まだまだ無堤のところがあり、県の管理区間でも、堤防がないところがありますので、何とか改修をお願いしたいと思っています。

今回の総合治水につきましての問題点等は、いまのところ特に考えるところはありません。私どもも平成21年の台風9号のときには、かなり被害を受けていますので、モデル地区の中

で意識の向上を図っていくということは、いいことではないかと思っています。

座長

ありがとうございました。

県民構成員

太子町の石海地区のあたりは、林田川、揖保川水系の氾濫を防止することももちろんですが、標高差が小さいせいか、ちょっとした雨で内水であちこち冠水して、せき板がなくてもすでに田んぼダムになるところが多いです。だから、全体的な排水能力も考えていただけたらと思います。

座長

いまいろいろご意見をいただきましたので、この推進計画の中に取り入れられるものは取り入れる形で考えていきたいと思えます。

「個別対策」については、実際にやられているところで、どんな感じでやられているのか、実際にやってみてどうなのかということをご自治体さんにお聞きしたいと思えます。

最近、姫路市で校庭貯留とか、公共施設に貯留されているという新聞記事を読んだのですが、まだ効果が出るような雨は降っていないのかもしれませんが、実施状況とかそのあたりをわかる範囲で構いませんので。いかがでしょうか。

市町構成員

実際に校庭貯留では溜まるのですが、下流域に対して効果が大きくあらわれているかという点、まだそこまではいっていないような状況です。

座長

「個別対策」のところでは建物等の耐水機能の話があるのですが、太子町で新庁舎を考えられている中で、建物でこういう耐水のことを考えられていましたら、具体的にお教え願いたいのですが。

市町構成員

新庁舎でいま考えていますのは、被害を最小限にとどめるという観点から、電気室、自家発電、コンピュータールーム等をすべて2階以上の上階へ持って上がるとか、インフラについても仮に1階が浸かった場合でも1階がダウンしないような電源の位置や配線を考えています。

それから、治水に関しては場内に貯留槽を設けて、幾らかでも初期貯留を確保しようということで、主に屋上の雨水を貯留槽にためて、普段はそれをポンプを使って屋外の散水に使って、大雨が来る前にはそのポンプで一旦水を全部空にしておいて、水を待つという形の貯留槽を考えています。例えば、オフィスで自然にオーバーしていく貯留槽は、受ける水位のほうが高いですから勾配の関係でできないので、ポンプアップを考えています。

あと、できるだけ駐車場緑化に努めて保水性を高めるということを考えています。

座長

どうもありがとうございました。

平成21年災を受けて、宍粟市でも国交省と一緒にいろいろソフト対策を実施したと思うのですが、その内容とか、実施後、効果まで出ていないのかもしれませんが、その状況等、何かわかりましたら簡単にお教え願えませんでしょうか。

市町構成員

自主防の方が、河川敷のよく見えるところに赤いラインを引いたりされています。それと、地域の中に避難路などをつくられています。この計画の中にもありますように、地域の自助の取り組みの見本になっていることは間違いないと思います。

地域の取り組みについては、田路委員がよくご存じだと思いますが、如何でしょうか。

県民構成員

曲里の場合は自主防災のモデル地区ということで、国交省と共同で社会実験をやっています。そのときに防災マップの製作、危険や注意標識の設置、あるいは防災マップを使った訓練と、いろいろとやってきていますので、私どもの地域ではかなり意識が高いと思っています。平成 21 年に被害を受けまして、平成 23 年の 5 月にもかなり大きな水が出まして、それで避難をやっています。その後、9 月にも同じように、訓練というよりも実際の実践をやっております。災害を受けて河川の堤防とか橋に、その地域の自主避難の目安の線を入れていまして、それを一つの目安にして自主的に避難してほしいということで、自治会がいろいろとやっているようなケースもあります。

座長

どうもありがとうございました。

「資料 5」のほうには「要点 2」ということでモデル地区を 3 地区あげています。これについて何かご意見はございますでしょうか。

県民構成員

モデル地区になった場合、地域で何かやっていかなければならないと思うのですが、今後、地域における進め方として、どうやって実践していくのか。要するに、田んぼダムをつくるというのはわかります。そのときには住民に協力していただくことにはなりますが、指定されても曲里地区はかなり低い土地で、家より田んぼの方が低い地域です。自治会が分かれていますので、他の自治会の方の協力を得ないといけないわけですが、田んぼダムを推進される場合、どういう進め方をされていくのかわからないのですが。

座長

図は、まだイメージ図ということで、現地を細かく見て、高いとか低いということまで把握できていませんので、このモデル地区で効果のある田んぼの位置等を把握した上で、県や市の担当とお話ししていくと思います。

県民構成員

こうしたすばらしい計画が策定できたら、今度はそれを浸透していくことが大切です。そのへんも全然見えないのですが、まず、計画をつくる段階として、どのようにして進められていくのか。我々もそのような話をしていかないと協力ができませんので。

兵庫県構成員

今回、それぞれモデル地区に指定されているところは、圃場整備もされていないところがほとんどだと思います。当然、住宅地ですのでそういう可能性は大きいのですが。

もう一つは太子町から出ていたことですが、もともと排水がうまくいっていないから雨が降れば田んぼダム状態になるというお話をされていたので、結局、そういう基本的な排水対策から話をしていかなければならないと思っています。

それと、もう一つは田んぼダムを整備する場合に、圃場整備地なら排水口などもきちりできていますので、せき板を置いていだけで、できるはずですが、未整備田でせき板がそのまま形が合うかどうかという問題もありますので、相談しながら進めさせていただけたらと思います。

県民構成員

わかりました。どうもありがとうございます。

市町構成員

モデル地区の地区名の名称ですが、いまモデル地区として載っていますのは、太子町では揖保川流域の全域になっているのですが、地区名が自治会名と数自治会を総称した名称が混在していますし、すべてが網羅されている名称ではありませんので、この地区名の名称についてはもう少し検討させていただきたいと思います。もう一度、県と話をさせていただいて適当な地区名を考えたいと思います。

座長

また協議させていただきたいと思います。

「要点 2」につきまして、特にほかにご意見はございませんでしょうか。ないようでしたら、この推進計画に関する議事は終わりたいと思います。

- 今後の予定について
(資料-6 を用いて事務局が説明)

- 閉会

西播磨東部(揖保川流域圏)総合治水推進協議会 第1回ワーキング 出席者名簿

属性	氏名	主な役職	出欠		
ワーキング メンバー	国	白井 宏明	国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所 調査第一課長	出席	
	兵庫県	黒澤 正之	西播磨県民局光都土木事務所 所長補佐(企画調整担当)	出席	
		大山 和弘	西播磨県民局龍野土木事務所 副所長	出席	
		赤堀 邦輝	西播磨県民局光都農林振興事務所 副所長	出席	
		木村 省三	西播磨県民局光都農林振興事務所 光都土地改良センター所長補佐兼農村計画課長	出席	
		伏見 達	西播磨県民局総務企画室長補佐兼企画防災課長	出席	
		作田 良文	中播磨県民センター姫路土木事務所 所長補佐(企画調整担当)	出席	
	市町	嵯峨山 孝夫	姫路市下水道局 河川整備室長	出席	
		西村 宏志	姫路市市長公室 危機管理室長	出席	
		奥村 正彦	姫路市産業局 農林水産部長	欠席	
		古林 義博	たつの市産業部 農地整備課長	出席	
		田中 寿長	たつの市都市建設部 参事(兼)建設課長	出席	
		森川 智司	たつの市教育管理 教育総務課長	欠席	
		高田 満	たつの市下水道部 下水道課長	出席	
		富井 俊則	たつの市総務部 危機管理課長	出席	
		鎌田 知昭	宍粟市建設部 次長	欠席	
		竹添 禮一郎	宍粟市産業部 農地整備課長	出席	
		清水 忠二	宍粟市まちづくり推進部 消防防災課長	出席	
		橋本 徹	宍粟市教育総務課 副課長	出席	
		栄藤 雅雄	太子町 企画政策課長	出席	
		水田 茂	太子町 上下水道事業所長	出席	
		八幡 充治	太子町 街づくり課長	出席	
		森川 敏文	太子町 産業経済課長	出席	
		首藤 武司	太子町 管理課長	欠席	
	県民	勢川 正澄	姫路市連合自治会 会計監査	出席	
		徳永 耕造	たつの市連合自治会 会長	出席	
		田路 定廣	一宮町曲里自治会 会長	出席	
		瀧口 迪範	太子町連合自治会 会長	出席	
	事務局	兵庫県	野邊 正彦	西播磨県民局龍野土木事務所 河川砂防課	出席
			児島 正樹	西播磨県民局龍野土木事務所 管理課	出席
			藤木 幹生	中播磨県民センター姫路土木事務所 河川砂防課	出席
			片岡 好章	西播磨県民局光都農林振興事務所 所長補佐兼治山課長	出席
			谷 章博	宍粟事業所砂防担当課長	出席
前川 広治			総合治水課 副課長	出席	
平井 克尚			総合治水課 計画班 班長	出席	
田村 咲知			総合治水課 計画班	出席	
森安 里夫	西播磨県民局光都土木事務所 企画調整担当	出席			
随行者	市町	菅原 成人	姫路市下水道局 河川整備室 課長補佐	出席	
		小西 智久	姫路市下水道局 河川整備室 主任	出席	